

11月12日 No.1129

2012年(平成24年)

週刊 月曜発行

発行人 河村 勝志

平成元年9月22日 第3種郵便物承認

購読料 年間 24,000円(前納)

1部 520円

週刊

循環経済新聞

The Recycling Economy Times

混練・造粒固化施設を開始

芸濃 薬剤処理で安全性高く

ガラスくず等やがれと
した処理を本格的に
スタートした。

混練・造粒固化施設
は、処理品目が鉍さい、
汚泥(無機性汚泥に限
る)の2種類だが、主
に窯業などの鑄砂(鉍
さい)や工業系の製造
などから発生するもの
が多い。処理能力は、
鉍さいが日量345t
(10時間稼働)で、汚泥
が同180t(10時間
稼働)。デルテックサー
ビス(三重県伊勢市、
服部豊社長、☎059
6・633・5501)
の薬剤を使用。六価ク
ロムやフッ素、鉛の溶
出抑制を得意とする。

安全性を高めるため
で、基本的にセメント
を利用して固化処理す
るが、より完全な処理
で、六価クロムや有害
重金属などを不溶化し
て、再生製品のユーザ
ーの信頼を高めるため
に使用した。



混練・造粒固化施設

混練・造粒固化の装
置には、北川鉄工所製
同センターの敷地面
積は、7000坪。混練
び陶磁器くずをいう。

した。1立
方のタイ
プで、1日
10時間稼働
して、44t
45tの処理
が可能だ。
芸濃リサイ
クルセンタ
ーでは、月
に1000
1500
の鉍さい
の処理をし
た。1立
方以外のタイ
プで、1日
等(石綿含有産業廃棄
物を除く、日量760
t、8時間稼働)、鉍さ
い(同1280t、8時
間稼働)、がれき類(石
綿含有産業廃棄物を除
く、同1280t、8時
間稼働)の3種類が許
可品目と処理能力だ。
ガラスくず等とは、ガ
ラスくず、コンクリー
トくず(工作物の新築、
改築、または除去に伴っ
て生じたものを除く)及
び陶磁器くずをいう。

施設で、鉍さいを中心